

寄稿

# 「酒匂川・久野川・西湘海岸」

小田原市長 加藤憲一

長雨やゲリラ豪雨、季節外れの台風などによる水害が心配なシーズンに入り、梅雨入り間もない6月6日から7日にかけての大雨では、避難判断水位まで達しなかったものの、久野川や狩川では河川水位が上昇。気が抜けません。

小田原を含む県西地域では、河川および海岸沿いに、防災上の懸念があります。河川では、中流域の堆砂進

行によって氾濫の危険性が高まっている酒匂川、上流域の大雨による水位上昇が頻発し護岸浸食が発生した久野川。そしてダムや取水堰で土砂供給が減少したため海岸の砂浜がやせ細り、台風や高潮で沿岸に度々危険が及んでいる西湘海岸。



かとうけんいち

1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長、有限会社あしがら総研代表などを経て、現在小田原市長を務める。妻と子ども2人の4人家族。

小田原市としてはこちらの課題は年を追うごとに懸念が高まっております。小田原市としてはもちろん、流域市町や県、そして国にとっても課題とされてきました。ここに来て、それぞれへの対策事業が大きく動き出しています。

**私が変わる・小田原が変わる**  
**おだわらを拓く力**  
 (加藤けんいち後援会)  
 小田原市栄町2-13-1-2F  
**TEL.0465-21-5260**  
 (月・水・金 10:00~17:00)  
<http://www.katoken.info>

酒匂川については、平成22年9月の台風9号による被害を踏まえ、神奈川県が中心となり「土砂管理プラン」を策定、中流域の大掛かりな土砂搬出や養浜などが始まっています。久野川では、小田急線交差部前後で発生した護岸浸食対策として、抜本的な護岸工事が小田原土木センターで進められています。西湘海岸では、沿岸自治体や県などが連携し数年がかりで国に要請を重ねた結果、全国でも数少ない、国による直轄の保全事業開始が決定され、6月8日に太田国交相を迎え着手式が行われました。これらの事業は、国・県・市各レベルの関係団体や議員の皆さんと行政とが、緊密な連携のもと、それぞれの役割に応じ各方面へ精力的に働きかけを続け、実現に至ったものです。未来にわたる地域の安全安心のため、これらの事業に市としても全面協力していきます。